

# 令和8年度総合学習 「交通安全を語る会」

交通安全リーダーとして～事故0を目指して、大岡南地区を見つめよう～

【日時】令和8年5月27日(水曜日)3～4時間目 【講師】 沼津交通安全指導員・沼津警察官

【目的】6年生が交通安全リーダーとしての自覚を高め、地域の危険箇所等を確認した。その結果を1年生に教えることで登下校時などに安全に注意して行動できるよう、交通安全を進める。



沼津交通安全指導員・警察官



南小学校

## 【事前調査】

6年生が大岡南小の、普段の登下校6コースを実際に歩いて点検し、「見通しの悪い交差点」「信号のない横断歩道」などの危険マップを作成し、児童が発見した危険箇所や具体的な改善策(カーブミラー・信号機の設置)について提言しました。6年生が地域の「交通安全リーダー」として1年生に交通安全について説明しました。

それぞれの交通安全リーダーが、クイズを取り入れて1年生に分かりやすく説明しました。小学生の交通安全を語る会は、子ども自身が「自分の命を守る行動」を学び、地域や保護者が連携して通学路の危険箇所を共有する重要な取り組みです。

● 交通指導員・警察官から、横断歩道は「止まる・見る・待つ」の基本動作を徹底し、左右の確認だけでなく「車が完全止まったか」「渡っている間も車を見ておく」意識が必要。また、見通しの悪い交差点、飛び出しの危険がある場所を子ども自身が地図に落とし込み、危険予測能力を養い、自転車に乗る際はヘルメットの着用を必須として、車道左側通行や交差点での一時停止をする事、**道路では遊んではいけません**との注意勧告がありました。

～交通安全を語る会風景～

